

## 平成29年度 南アルプス市立若草南小学校学校関係者評価書

平成29年9月1日（金）  
学校関係者評価委員会作成

### 第2回学校関係者評価委員会

実施日：平成29年9月1日（金）午後12時50分～

場 所：若草南小学校校長室

参加者：学校関係者評価委員・教職員

五味五月男（藤田区自治会長、学校評議員）  
弥富 賢士（浅原区自治会長、学校評議員）  
深澤 美香（主任児童委員、学校評議員）  
佐藤 佳樹（PTA 会長、学校評議員）  
中村 貴子（PTA 副会長、学校評議員）  
柴田 肇（前市教委総務課長、学校評議員）  
市川 利仁（校長）  
加賀美 敏（教頭）  
石川 和樹（教務主任）

#### 1 学校側から提案の内容

- ①学校関係者評価の趣旨
- ②本年度の学校経営方針並びに現状
- ③学校評価の方法について
- ④評価の全体的な傾向について
- ⑤児童アンケートの内容と結果について
- ⑥教職員自己評価シートの内容と結果について
- ⑦まとめ…学校評価から見られる成果や課題，ならびに改善策について

#### 2 協議された主な内容

- ①学校自己評価についての全体評価について
- ②項目ごとの評価・達成状況・改善策について
- ③今後の改善策について

### 《学校関係者評価書》

#### I 全体評価

教職員の自己評価の集計結果は肯定的評価がほとんどで若草南小学校の教育活動が、学校長の指導のもと効果的に進められていると言える。

また、全校児童のアンケートの集計結果は昨年度と比較すると、今まで課題であった2項目（「わたしは、自分で考えたことを、進んで発表しています。」、「わたしは、本をよく読みます。」）が改善され、ほとんどの項目が肯定的評価となった。これは、校内研究の推進に伴う、アクティブ・ラーニングや若南スタンダードへの取組の成果だと思われる。引き続き校内研究を充実させ、主体的に学ぶ児童の育成に取り組んでほしい。

## II 学校関係者評価委員会で出された主な意見

### ○友達関係・いじめについて

- ・最近のいじめが陰湿・巧妙になってきているので心配である。子どもは大人のまねをするので、友達関係がうまく作れるように引き続き指導してほしい。

### ○トイレのスリッパの整頓や所作について

- ・1階男子以外はすべて整頓されていた。指導が行き届いていると感じた。
- ・スリッパを揃えない子が気づくまで整頓し続けることが大事。自分で問題に気づいたら直すようになる。教育は辛抱である。
- ・親が忙しく大変なのはわかるが、基本的な所作を家庭で教えることが大事である。また、良い所を褒めて自尊心を高めることも大切である。

### ○共通理解の徹底や多忙化解消について

- ・企業では、細かいルールまでパソコンの中に載せている。ルールを知らなかったとかメールを見なかったとかいう事を通用させないようにすることが大切なのではないか。パソコン整備等の体制は整っていると思うので、情報の共有化を徹底しないと共通理解や効率化は進まない。情報管理担当者がしっかり情報を流したり管理したりすることが改善につながると思う。
- ・事務の定型化を強制的にやらなければ効率化は進まない。

### ○スマホ・SNSの問題

- ・学校でも保護者に参観等で撮った写真をむやみにSNSに載せないようにお知らせをしたばかりだが、今は簡単に個人情報が出てしまうので、情報管理はこれから大切になってくる。子どものスマホの所有率も気になるが、家庭でしっかりとルールを決めておくことが大切である。

### ○学級や子どもの様子について

- ・学級担任によって学級の雰囲気が違うと感じた。教師の経験値の差もあるが、短い言葉で端的に指示を出すと、子どもたちはパッと動いたり、集中したりすることができていた。まわりで見ていた保護者も集中して静かになった。
- ・以前は立ち歩いたりして落ち着きのない子がいたが、今日参観したところみんな落ち着いて学習に取り組んでいてよいと思った。
- ・親子レクに参加したが、以前は保護者が中心になって進めていた司会進行などを子どもがやっていた。また、感想発表なども多くの子が進んで発表していた。今日は、子どもたちのアクティブな姿を多く見ることができた。主体的に取り組むことを教師が褒めて認めてあげているからそういった成果に結びついているのではないか。

### ○家庭学習・自主学習について

- ・宿題（自主学習）の量が多いので、子どもが寝る時間がおそく心配である。
- ・学びは習慣化が大事である。6年生ではかなり自主学習に取り組む習慣ができているので、学習と睡眠のバランスがとれるように生活のリズムを変えてみたらどうか。時間の使い方を工夫する必要がある。

### ○給食について

- ・給食試食をして給食がおいしいと感じた。食育はとても大事である。いろんな人の努力によって給食が作られているので、感謝の気持ちを持って食べてもらいたい。

### ○エアコン設置について

- ・暑い日が続いているので、各教室にエアコンを設置していただいて良かった。良い環境の中で学習に取り組んでほしい。

### ○消火器の使い方について

- ・高学年児童は防災訓練で使い方を習っているそうだが、緊急時以外は基本的に消火作業は教職員がやるべきである。

### Ⅲ今後の改善策・重点課題について

○校内研究を中心にして、子どもが主体的・協働的な活動を通して、学びを深められるように授業改善をしていく。

- ・基礎・基本の定着と思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- ・調査・対話・討論・製作・発表などを生み出す学習課題設定の工夫をする。
- ・子どもの主体的なペア・トーク、グループ活動を授業の中に取り入れる。

○地域や家庭との連携を深める。

- ・P T Aによる登校時の見守り活動の継続
- ・安全ボランティアの拡充。
- ・家庭と連携して学習習慣の定着化。
- ・教育ボランティアとしての地域人材の活用（外国語活動など）